

目標達成計画

作成日:平成 24年 4月 9日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	毎月の夜間想定避難訓練は施行しているが、緊急通報装置及び、消火器操作訓練が定期的に行われていない。特に新人職員に通報装置の操作方の指導が徹底されていない。又、あらゆる状況の災害に対応した訓練が不十分である。	全職員が災害時の緊急状態に迅速に対応できるよう、緊急通報装置や消火器の使用方法を完全に習得し、地震火災等のあらゆる災害を想定した訓練の幅を広げることで危機管理を強化する。	消防機関の協力を得て年2回(春・秋)の避難訓練の際に通報装置操作方法や消火器使用方法を繰り返し訓練する。限られた人員で安全に避難誘導を行えるよう各種災害を想定した訓練を行い、課題を明確にし、より迅速かつ安全な避難誘導を学ぶ。	12ヶ月
2	34	利用者の急変に際し、不安を抱える職員は多い。看護師の指示にて対応はできるものの、状態の見極めや初期対応の不安が軽減される取り組みは継続して行なう必要がある。	高齢者におこりやすい転倒や怪我、病気の理解を深め、症状に応じた初期対応や見極めのポイント等の知識を全職員が得る機会を定期的に設け実践できる。	消防機関の協力を得て全職員が改めて救急救命講習を受講し、病気への理解や知識を深める為のテーマで内部研修を開催する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。